

資料 2-⑦

港湾施設の維持管理における課題について

国土交通省 港湾局

平成25年11月6日

港湾施設の特徴

- 1つの港湾の中に国有施設、港湾管理者所有施設、民間所有施設が存在し、一体となって機能している
- 国有港湾施設については、国が整備し、地方公共団体が管理している
- 土木施設としての寿命よりも社会的役割を果たす寿命の方が短い
- 構造物の多くが水中に没している

(点検)

- ・施設構造の弱点を把握した点検(基準)
- ・維持管理を考慮した設計手法の確立
- ・設計段階における港湾管理者の参画
- ・竣工図を整備・保存する仕組みの必要性

(基準)

- ・実行可能かつ必要最低限の労力で最大限の効果が期待できる点検基準の整備
- ・今後の知見の蓄積に応じた基準の見直し

(現場制度)

- ・研修、技術相談窓口の充実
(港湾管理者、民間会社)
- ・資格制度の充実、活用
- ・入札・契約、積算制度の整備

(新技術)

- ・点検の自動化、遠隔化、効率化

(情報)

- ・利便性の高いデータベースの整備
- ・港湾管理者との情報共有

(維持管理に関する計画)

- ・維持管理計画に基づく維持管理の推進に向けた協議の強化
- ・予防保全計画の位置付けの明確化